

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	株式会社 学研R&C
所 在 地	東京都大田区仲池上1-17-15学研第2ビル
評価実施期間	平成19年10月1日～平成20年1月31日

2 評価対象事業者

名 称	浦安市立日の出保育園	種別： 保育所
代表者氏名	小川 理枝子	定員（利用者人数）： 168名
所 在 地	千葉県浦安市日の出2-11-1	TEL 047-380-0880

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◆ 特に評価の高い点

園庭開放、身体測定、お楽しみ会、クラス解放、人形劇など、さまざまな子育て支援事業を実施し、この参加者にアンケートを行いニーズの把握に努めています。こうしたニーズの中から、保育園の役割として、時間外申請や産前産後のあずかり対応などができる限り充実させたいと園長は考えています。

また、アンケートなどから把握した利用者の意見・要望は、その内容に応じて、「環境」、「子育て支援」、「時間外」、「在園児支援」などの各係が分析・検討にあたります。各係は分析・検討した結果をもとに、改善案を策定し、職員会議で検討したり、内容によっては父母会にも諮ったりした上で改善に取り組んでいます。

さらに、要望、トラブルなどに対しては、迅速に対応できるよう手順を決めています。クラス対応か園長に相談か、クラス間にまたがるような苦情は、職員会議で検討します。解決について父母会と協議する場合があります。苦情に対する回答は、口頭や文書だけでなく、園長と担任による面接での回答もあり、さまざまに対応しています。

乳児保育・衛生・事故・防災・服務規程など、各種のマニュアルがあり、これらを「ブルーファイル」にファイルしています。このファイルは職員一人ひとりが持っていて、常に活用しています。「時間外サポーターハンドブック」もあり、この中には職員の基本的なマナーの関しての記述もあります。

浦安市の感染症マニュアルのほかに、園独自の衛生マニュアルを作成しており、看護師を中心に感染症防止に取り組んでいます。感染症流行時には最新情報を把握し、職員会議で感染症防止策を伝えています。日常は、特に手洗い・うがい指導を行っています。感染症発生時は速やかに保護者にも掲示をして伝えています。

子ども一人ひとりの気持ちを受け止めながら、心身ともに安定した生活ができるようにすることを共通認識とし、成長発達に合わせて保育を進めています。現在、環境係を中心に「一人ひとりを大切にする保育」をテーマに、人的環境について園全体で討議・検討をしています。

園では、子ども一人ひとりを大切にするとともに、いろいろな経験や遊びを通して、友だちとお互いに影響を与え合い、「ともに育ちあうこと」も目標にしています。友だち同士思いやりの気持ちを持ち、お互いを認め合うことを大切にしています。

0歳児保育室は、低月齢と高月齢で保育室を分け、ゆったりと保育を行っています。食事・遊び・午睡の場所は空間分けをしています。また、離乳食のサンプルを保育室前の受託室に置き、保護者にとってはわかりやすいものとなっています。

◆ 特に改善を求められる点

現在、非常勤職員（サポーター）の募集を行っていますが、応募者が少なく、そのほかの職員に負担がかかっていると園長は考えています。これを早期に解消すればなおよいでしょう。

プライバシー保護・個人情報保護に関して、朝・夕のサポーターには、月1回のサポーター会議で、問題のあった事例などについて伝達しています。しかしこれだけでは十分な認識はできていないと思われます。今後の課題として、プライバシー保護・個人情報保護について、規程・マニュアルなどの整備や全職員への研修、また、それらに基づいたサービスを行うよう望みます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

客観的に園全体を振り返ってみる良い機会になりました。
自園の弱い所を見直し、より良い園にしていきたいと思えます。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

異年齢交流を行いながら、思いやりの心や、社会性を身につけられるように、子どもたちの成長を育てていきます。

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
I 福祉サービスの基本方針と組織	<p>浦安市の基本理念をもとに、園としての方針や目標を作成しています。これらについては、年間計画や指導計画についても一貫性をもたせるようにしています。</p> <p>職員会議（全職員）、連絡会議（全職員）、各クラス別会議、主任会議、事務所との朝夕サポーター会議、クラス別サポーター会議、給食・栄養士・保健・園長・副園長会議というように会議が機能化しています。このことによって職員と幹部職員が話し合い、決議事項も明確になっています。</p>
II 組織の運営管理	<p>在園児の保護者に対して保育参加を促進する取組（ひのでっこひろば）は、特別の行事だけでなく、通常の保育を見てもらおうと一昨年から定期的開催しています。これは、保護者が保育の1日に普通に参加してもらうことが、保育園の運営にとって重要であると考えるを行っています。</p> <p>園長はなるべく職員の意見を反映し、園の運営を職員の総意で行うように配慮をしています。</p>
III 適切な福祉サービスの実施	<p>年間の定期的な行事である保育参観・保育参加、懇談会、園庭開放などの折に、アンケートを実施して利用者満足に関する調査を行っています。また、クラスの個人面談で意見を聞いたり、意見箱を設置したりしています。父母会役員との年度初めの会合でも意見・要望など聞いています。さらに、「保育フォーラム」からも要望を聞くようにしています。</p> <p>アンケートなどから把握した利用者の意見・要望は、その内容に応じて、「環境」、「子育て支援」、「時間外」、「在園児支援」などの各係が分析・検討にあたります。どの範疇にも属さないテーマは、職員会議で担当を決め分析・検討しています。各係は分析・検討した結果をもとに、改善案を策定し、職員会議で検討したり、内容によっては父母会にも諮ったりした上で改善に取り組んでいます。</p>

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
IV サービスの内容	<p>子ども一人ひとりの気持ちを受け止めながら、心身ともに安定した生活ができるようにすることを共通認識としています。子どもに向き合い、じっくりと話を聞いたり、わかりやすいことばで語りかけています。現在、園全体で「一人ひとりを大切にする保育」をテーマに人的環境についての討議・検討をしています。</p> <p>子ども一人ひとりの健康状態に関する情報を把握するためのしくみがあり、健康状態に変化があったり、怪我をした場合には、看護師が中心となり柔軟に対応しています。</p> <p>保護者に子どもの育ちを伝えたり、保護者同士の情報交換の場をもつよう工夫しています。各クラスには掲示板があり、保護者同士での子育て情報交換やレシピの情報交換をしたり、保育参加では、職員の意見から保護者と子どもがより触れ合いをもてるよう工夫をしています。</p>

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果		
大項目	中項目	小項目	項目		評価結果		
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	①理念が明文化されている。	a		
			2	②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a		
		(2) 理念・基本方針の周知	3	①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	a		
			4	②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a		
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	a		
			6	①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	a		
		(2) 重要課題の明確化	7	①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	a		
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a		
			9	②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b		
II 組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	a		
			11	②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a		
	3 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	a		
			13	②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	a		
			14	③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	a		
			15	①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	a		
		(2) 職員の就業への配慮	16	②福利厚生に積極的に取り組んでいる。	a		
			17	①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	a		
	(3) 職員の質の向上への体制整備	18	②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a			
		19	③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。	a			
		20	①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a			
	4 安全管理	(1) 利用者の安全確保	21	②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a		
			22	①地域との交流・連携を図っている。	a		
	5 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	23	②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	a		
			24	③事業所が有する機能を地域に還元している。	a		
			25	④関係機関等との連携が適切に行なわれている。	a		
			26	①地域の福祉ニーズを把握している。	a		
		(2) 地域福祉の向上	27	②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a		
			1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	28	①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている。	a
					29	②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。	b
	(2) 利用者満足の上	(2) 利用者満足の上	30	①利用者満足の上を意図した仕組みを整備している。	a		
			31	②利用者満足の上に向けた取り組みを行っている。	a		
		(3) 利用者意見の表明	32	①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	a		
33			②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	a			
34			③利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a			
35			①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a			
2 サービスの質の確保	(1) サービスの質の向上への取り組み	36	②課題発見のための組織的な取り組みをしている。	a			
		37	③常に改善すべき課題に取り組んでいる。	a			
		38	①職員の対応について、マニュアル等を作成している。	a			
(2) サービスの標準化	(2) サービスの標準化	39	②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	a			
		40	①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	a			
	(3) 実施サービスの記録	41	②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	a			
3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	42	①施設利用に関する問合せや見学に対応している。	a			
		43	②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	a			
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	44	①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a			
		(2) 個別支援計画の策定	45	①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	a		
	46		②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	a			
	47		③個人情報保護に関する規定を公表している。	a			

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果					評価結果
大項目	中項目	小項目	項目		
IV 保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
			2	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
		(2) 健康管理・食事	3	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
			4	健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
			5	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
			6	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
			7	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
			8	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
			9	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
		(3) 保育環境	10	子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	a
			11	生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	a
		(4) 保育内容	12	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
			13	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
			14	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
			15	身近な自然や社会と関われるような取組みがなされている。	a
			16	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
			17	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	a
			18	性差への先入観念による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
			19	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a
			20	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a
			21	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
			23	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
			24	こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
			25	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
			26	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
		(2) 一時保育	27	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	—

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立日の出保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織			
I-1 理念・基本方針			
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	1	a	浦安市の子育て支援総合計画により、理念を明文化しています。 理念については玄関や各保育室に掲示し、園の概要資料にも記載しています。
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	a	浦安市の基本理念をもとに、園としての方針や目標を作成しています。これらについては、年間計画や指導計画についても一貫性をもたせるようにしています。 玄関や各保育室にも掲示してあり、園の概要資料にも記載しています。
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	a	職員への説明については、資料を配布した上で園長より行っています。月案を策定する会議では常に理念を振り返り、確認を行っています。 朝・夕の担当(非常勤職員など)には、資料を配布し、掲示物もありますので意識をしていると思いますが、再確認をすることでさらに理解が深まるでしょう。
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	a	園の概要資料には理念などを記載しています。これを保護者に渡し、保護者会(懇談会)で説明をしています。 さらに、理念や方針をわかりやすくして、クラスだよりにも載せています。
I-2 計画の策定			
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	a	中・長期計画については、子育て支援総合計画として浦安市が策定しています。この中には、保育園の整備、一時保育の拡充、乳幼児健康支援などがあり、5年以内の目標を定めています。
I-2-(2) 重要課題の明確化			
I-2-(2)-① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	a	毎月行う職員会議では、重要な課題を取り上げて再確認を行っています。今までに、防犯対策として2階のテラスの照明を業者に依頼して改善したり、1・2歳児の保育室の仕切りを改善するための検討を行っています。
I-2-(3) 計画が適切に策定されている。			
I-3-(1)-① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	a	職員会議(全職員)、連絡会議(全職員)、各クラス別会議、主任会議、事務所との朝・夕サポーター会議、クラス別サポーター会議、給食・栄養士・園長・副園長会議というように会議が機能化しています。このことによって職員と幹部職員が話し合い、決議事項も明確になっています。

評価基準		評点	コメント
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a	園庭開放などでアンケートを行い、園内の改善にも役立てようと考えています。また、子育て支援については、クラスごとに職員が対応しますが、それぞれ意欲をもって対応しています。 幹部職員の指導力によって、日常の保育や子育て支援事業について全職員が一丸となって取り組んでいます。
I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	b	職員の健康管理について配慮し、休暇なども取得しやすいように体制を考えています。 現在、非常勤職員(サポーター)の募集を行っていますが、応募者が少なく、その分ほかの職員に負担がかかっていると園長は考えています。これを早期に解消すればなおよいでしょう。
II 組織の運営管理			
II-1 経営状況の把握			
II-1-(1) 経営環境の変化等への対応			
II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	a	在園児の保護者に対して保育参加を促進する取組(ひのでっこひろば)や地域の子育て支援事業(なかよしひろば)の中でアンケート調査を行い、子育てについての状況把握に努めています。収集した情報をどのように活用するか、全職員で再検討するとさらによいでしょう。
II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	a	「ひのでっこひろば」は、特別の行事だけでなく、通常の保育を見てもらおうと一昨年から定期的に開催しています。これは、保護者が保育の1日に普通に参加してもらうことが、保育園の運営にとって重要であると考えて行っています。
II-2 人材の確保・養成			
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
II-3-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	a	職員は、公務員、保育士の倫理綱領などを理解し遵守しています。全職員がカード化した注意事項を所持しています。
II-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	13	a	人事については市の方針に基づいて行っています。園長は職員と個人面談を行い、育成を行っています。 非常勤職員については、市で定めた規定に基づき、園長の裁量で採用を行っています。
II-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	a	人事評価については市の職員として組織的に行うしくみがあります。自己評価を行っていますので、基準は明確になっていますが、園長として日常の対応を踏まえ、具体的なフィードバックがあればさらによいでしょう。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	a	園長が職員と面談をすることによって、それぞれのように把握するようにしています。 また、主任も職員からの意見を収集する役目を担っています。 園長はなるべく職員の意見を反映し、園の運営を職員の総意で行うように配慮をしています。
II-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	a	市の職員として福利厚生制度があります。 また、園においても独自のレクリエーションを行い、職員のリフレッシュを図っています。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上への体制整備			
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	a	職員研修については年間計画があり、全職員が必ず年間1回以上の研修を受講するようにしています。
Ⅱ-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	a	研修受講後は、報告書にまとめることが義務づけられ、職員会議で報告を行っています。このことによって研修の評価や計画の見直しを行っています。
Ⅱ-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	a	実習生を受け入れた時は、最初に必ず時間をかけてオリエンテーションを行います。10日間～2週間の実習が多く、最終日は反省会を行います。学校ごとに指定された実習要綱にも柔軟に対応しています。
Ⅱ-3 安全管理			
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
Ⅱ-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	a	緊急時のマニュアルについては、事故対応・応急処置・感染症発生時の手引き・保育園の衛生面・施設安全管理などの冊子があり、全職員が認識をしています。 また、保護者へもネームプレートの着用を願ひ、安全対策に努めています。
Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	a	全クラスごとに安全対策のチェックリストがあり、定期的に見回りを行っています。このチェック表は各クラス担任が主として行い、園長、副園長、主任などが確認後、押印します。 このほか、事故発生時の対応など、ロールプレイングによる訓練を職員会議で行っています。
Ⅱ-4 地域との交流と連携			
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-① 地域との交流・連携を図っている。	22	a	園庭開放、身体測定、お楽しみ会、クラス解放、人形劇などさまざまな子育て支援事業を実施しています。 このほか、5歳児については幼稚園との交流で劇を見学したり、小学校の見学に行ったりしています。また、近隣の有料老人ホームの方々を父母会主催の夏まつりに招待して交流を深めています。
Ⅱ-4-(1)-② 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	a	散歩で公園に行くことがあり、公民館の図書コーナーを利用することもあります。 玄関には夜間休日診療の案内などを掲示しています。
Ⅱ-4-(1)-③ 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	a	園庭開放、身体測定、お楽しみ会、クラス解放、人形劇などさまざまな子育て支援事業を実施しています。この案内については、通信として毎月発行しています。
Ⅱ-4-(1)-④ 関係機関との連携を図っている。	25	a	保護者の就学相談や職員研修について教育委員会と連携があり、療育相談においてはこども発達センターと深くかかわりをもっています。 このほか、園医(内科・歯科)、幼稚園、小学校、市内の保育園、消防署、警察署などとさまざまな連携があります。

評価基準		評点	コメント
Ⅱ-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
Ⅱ-4-(2)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	26	a	<p>園庭開放、身体測定、お楽しみ会、クラス解放、人形劇などさまざまな子育て支援事業を実施し、この参加者にアンケートを行いニーズの把握に努めています。</p> <p>こうしたニーズの中から、保育園の役割として、時間外申請や産前産後のあずかり対応などをできる限り充実させたいと園長は考えています。</p>
Ⅱ-4-(2)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	a	<p>園庭開放、身体測定、お楽しみ会、クラス解放、人形劇などさまざまな子育て支援事業を行うことによって、年々参加者が増加しています。アンケートを実施し、これを次回の計画に反映しています。</p>

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立日の出保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	a	<p>年間の研修計画の中で、プライバシー保護・個人情報保護に関する研修に出席した代表者が、受講内容を職員会議で報告しています。平成17年度には、弁護士による市立7園共通の特別講演があり、当園の職員は9割位出席しています。同年、プライバシー保護・個人情報保護に関する市の研修を園長・副園長・主任が受講し、それをもとに職員に研修を実施しました。</p> <p>しかし、その後は、気付いたときに職員会議などで園長から注意を喚起していますが、研修は行っていません。今後は定期的に研修を実施するよう望みます。</p>
Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	b	<p>視診表・活動表など、個人の記録を残すものは、以前は細かい項目についても記入する記録用紙でした。しかし、個人情報保護に関する法律の施行後は、この記録用紙からプライバシーに関する項目などは除き、必要な項目だけの様式に変更しています。朝・夕のサポーターには、月1回のサポーター会議で、問題のあった事例などについて伝達していますが、これだけでは対応の遅れを園長は感じていますが、今後の課題として、プライバシー保護について、規程・マニュアルなどの整備や、それに基づいたサービスを行うよう望みます。</p>
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上上に務めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の上上を意図した仕組みを整備している。	30	a	<p>年間の定期的な行事である保育参観・保育参加、懇談会、園庭開放などの折に、アンケートを実施して利用者満足に関する調査を行っています。また、クラスの個人面談で意見を聞いたり、意見箱を設置したりしています。父母会役員との年度初めの会合でも意見・要望など聞いています。さらに、「保育フォーラム」からも要望を聞くようにしています。</p>
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の上上に向けた取り組みを行っている。	31	a	<p>アンケートなどから把握した利用者の意見・要望は、その内容に応じて、「環境」、「子育て支援」、「時間外」、「在園児支援」などの各係が分析・検討にあたります。どの範囲にも属さないテーマは、職員会議で担当を決め分析・検討しています。各係は分析・検討した結果をもとに、改善案を策定し、職員会議で検討したり、内容によっては父母会にも諮ったりした上で改善に取り組んでいます。</p>
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	a	<p>苦情や意見の受け付けは、連絡ノート・担任や園長に直接申し出る・意見箱へ投函・電子メール「市長への手紙」など、いろいろな手段が用意されています。福祉サービスに関する苦情解決ポスターも掲示しており、苦情相談の方法がわかるようになっています。また、スペースの関係から、相談や意見を述べやすいような相談室はありませんが、職員室に衝立を立てて代用しています。</p>
Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	a	<p>苦情解決ポスターに、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員とその連絡先などを明示しています。寄せられた要望、トラブルなどに対しては、迅速に対応できるような手順を決めています。クラスからの苦情は、クラス対応か園長に相談か、担任が判断し処理します。クラス間にまたがるような苦情は、職員会議で検討します。解決について父母会と協議する場合もあります。苦情に対する回答は、口頭や文書だけでなく、園長と担任による面接での回答もあります。また、苦情への検討内容や対応策は、利用者にはフィードバックしたり、配慮した上で、苦情内容・解決結果などを公表したりしています。</p>
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	a	<p>意見や提案、苦情などを受けた際は、苦情処理ファイルのマニュアルに則って、「意見・要望等の受付書」に記録したり、クラス対応のものは「発達記録」にメモしたりしています。こうした苦情処理から学んだことを保育サービスの改善に反映しています。例えば、運動会など、騒音で周辺住民に迷惑をかけることが予測される場合は、予め挨拶状を配布して、苦情予防に努めています。</p>

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	a	毎年1回、市の「事業者自己評価」を受審しています。5人の評価担当者を決め、かれらを中心に職員の自己評価表をまとめ、市に提出しています。評価結果は全員に配布し、職員会議で分析・検討しています。 なお、第三者評価は、今回初めて受審しました。
Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	a	市からフィードバックされた「事業者自己評価結果」について、職員会議を開き分析・検討して、課題発見に努めています。これらの会議の結果は、職員会議録に記録しています。
Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	a	評価結果から明確になったいくつかの課題は、職員会議で検討し、次年度の保育計画に反映するための取組をしています。年度末の「保育のまとめ」の会議で、分析結果を項目別にまとめ、検討して次年度の課題を設定します。さらに、担当者を決めて検討会を開き、改善案や改善計画の策定にあっています。計画の実施状況は、アンケートをとって、それを担当者が分析し、反省会を開いて、必要に応じて見直しを検討、職員会議で報告しています。
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	a	乳児保育・衛生・事故・防災・服務規程など、各種のマニュアルがあり、これらを「ブルーファイル」にファイルしています。このファイルは職員ひとり一人が持っていて、常に活用しています。「時間外サポーターハンドブック」もあり、この中には職員の基本的なマナーに関する記述もあります。
Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	a	マニュアルなどの見直しに関しては、職員会議に「ブルーファイル」を持ち寄り、意見を出し合っています。職員会議での検討を踏まえ、サービスの実施方法を見直したり、その改善を図ったりするために、主任会議で話し合いを行っています。 最近の実績の一例としては、平成16年に作成した「0歳児保育マニュアル」を、平成18年に一部改訂、平成19年追記などの見直しを実施しています。年間を通した一連のマニュアルの見直しのまとめは、年度末の職員会議の「保育のまとめ」で検討しています。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	a	出席簿、連絡ノート、時間外ノート、電話連絡簿などに利用者一人ひとりの体調の変化を記録しています。看護師は、午前、午後巡回し、子どもたちのようすを視診と担任からの聞き取りによって確認し、連絡ノート、時間外ノート、電話連絡簿の記録とも併せて保健業務日誌に記録しています。 そのほか、必要に応じて感染症一覧、清潔検査表にも記録しています。連絡ノートの記録様式は、0～2歳児までは市立園共通のリフィル式ノートになっていて、記録者による記録内容のばらつきを防いでいます。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	a	園児の状態変化などは、職員室内と各クラスに設置されているホワイトボードや「引継ぎノート」によって、早番、遅番、時間外の職員に、注意(怪我などの対応)、回収するもの、渡すものなどを伝えています。職員は全員、必ずこれらのホワイトボードや「引継ぎノート」に目を通すことになっています。 園児に状態変化などがあった場合は、担任からインターホンで事務室に伝え、看護師、園長に指示を仰ぎます。状況によって、主任が各クラスに伝えたり、園内放送をしたり、園児の午睡時に集まってもらったりすることもあります。こうした情報は職員会議でも報告し記録しています。

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	a	<p>園利用に関する問い合わせには、いつでも対応しています。見学にも随時応じています。電話で申し込んでもらうことになってはいますが、飛び込みの場合でも、職員の手が空いていれば対応しています。体験入園は、人数を限定して1時間半くらいクラスに入ってもらっています。</p> <p>一時保育の希望も寄せられていますが、さまざまな事情から、現在は行っていません。将来の課題としています。</p> <p>また、子育て支援の内容を紹介した資料「なかよし広場」を、子育て支援センター、マザーズ、児童センター、市の健康増進課、保育幼稚園課などに置いています</p>
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	a	<p>保育内容や料金など、重要事項の説明は市の担当課が行っています。園での入園面接では、「入園のしおり」を使って基本説明を行っています。アレルギーのある子どもは、面接の後、必要な利用契約書を取り交わし、さらに、医師から「指示書」をもらって、それに沿って対応しています。障害児の場合は、個別面接での内容を「発達記録」に記録し、必要な書類を提出してもらっています。</p>
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	a	<p>園児一人ひとりのニーズや課題は、月案の「評価・反省」の欄に担当が記入し、事務所主任、副園長、園長が順次チェックした後、担任に戻します。また、発達記録の特記事項の欄には、継続すべき課題を明示し、これらも加味しつつ次月の指導計画を立てています。月案の様式は市立7園共通のものを使っています。</p>
Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定			
Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	a	<p>個別の指導計画は、クラス担任が責任をもって策定します。その時、連絡ノート、個人面談、懇談会などから把握した利用者の意向も反映しています。策定した計画は、事務所主任、副園長、園長が順次チェックした後、クラス担任に戻します。計画の実施状況についても、同様の手順で確認・助言・指導を行います。</p> <p>年間指導計画については、全員に配布し、職員会議の議題として各クラスごとに発表を行い、クラスを横断して検討を行います。月案、年間指導計画ともに事務所に常備しており、全職員が、各クラスの計画書をいつでも見ることができます。</p>
Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	a	<p>個別の指導計画の見直しは、毎月月中旬から下旬に行っています。指導計画の中の「評価・反省」欄に記入し、次月の計画策定の際に生かします。この時、連絡ノート、個人面談、懇談会などから把握した利用者の意向も反映します。</p> <p>また、この見直しの内容は、事務所主任、副園長、園長が順次、すべてに目を通します。さらに、必要に応じてクラス主任を通して、各クラス担任に伝えていきます。なお、計画を緊急に変更する必要がある場合は、事務所主任、副園長、園長の3人とクラス担任が協議して対応します。</p>
Ⅲ-4-(3) 情報の管理			
Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	a	<p>個人情報保護に関する規程は、「園だより」に明示しています。また、玄関ホールにも規程を掲示しています。</p> <p>なお、個人情報に関する記録文書類は、書棚に保管し施錠しています。</p>

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立日の出保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV 保育所			
IV-1 子どもの発達援助			
IV-1-(1) 発達援助の基本			
IV-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	a	保育計画は、浦安市の定める基本理念のもとに、地域の実態や保護者の実情、意向などを考慮し、職員で練り上げて作成しています。保育計画作成後も、保育計画係が中心となって職員で検討・見直しを図り、平成19年3月に改定を行っています。
IV-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	a	月間指導計画は、担任が毎月評価・反省のもとに次月の計画を作成し、主任・副園長・園長より助言・指導を受けています。年間指導計画は、保育計画に沿ったものになっているかを確認しながら作成し、期ごとに反省・評価を行っています。職員会議で年間指導計画について、学年ごとに大事にしている部分を発表し合うなど、よりよい指導計画を作成しようという姿勢が見られます。
IV-1-(2) 健康管理・食事			
IV-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	a	園独自の健康管理に関するマニュアルがあり、看護師と保育士が連携を図り、子どもの健康管理を行っています。子ども一人ひとりの健康状態に関する情報を把握するためのしくみがあり、子どもの健康状態に変化があったり、怪我をした場合には、看護師が中心となり柔軟に対応しています。また、保護者への引き継ぎの方法も文書と口頭で確実に伝える工夫をしています。
IV-1-(2)-② 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	a	健康診断は年2回（6か月未満は2週間ごと）行っています。事前に保護者から質問を受け、医師からの回答を看護師自身が文書で伝えています。嘱託医から感染症情報を得たり、感染症流行時の対応方法について助言を受けています。
IV-1-(2)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	a	浦安市の感染症に関するマニュアルのほかに、園独自の衛生面のマニュアルを作成しており、看護師を中心に感染症防止に取り組んでいます。感染症流行時には最新情報を把握し、職員会議で感染症防止策を伝えています。 日常は、特に手洗い・うがい指導を保育士や子どもに行っています。感染症発生時は速やかに掲示をして保護者に伝えています。
IV-1-(2)-④ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	a	園では、ホールでの異年齢による会食、クッキング、バイキング、野菜の栽培、ベランダでおやつを食べるなど食事を楽しむためのさまざまな工夫をしています。また、給食は子ども自身が自分で食べられる量を申告しています。
IV-1-(2)-⑤ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	a	園では、保育士が何らかの係を担当しており、給食係の保育士・栄養士・調理員が定期的に話し合いをして、おはしの使用や調理の工夫などに反映するよう努めています。調理員はできる限り子どものようすを見て喫食状況の把握に努めています。
IV-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	a	レシピは月に1品程度提供しており、クッキングの後などに希望があれば応じています。給食は保育参加に合わせて、随時可能となっています。給食のサンプルは玄関ホールに置くほかに、0歳児保育室の受託室に離乳食サンプルを置いてより保護者がわかりやすいようにしています。健康上特に配慮が必要な子どもに対して、きめ細かい給食の提供をしています。
IV-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	a	除去食、代替食の提供にあたっては、医師の指示のもとに保護者と連携を図り対応をしています。誤食防止のために全職員で何度もチェックを重ねています。

評価基準		評点	コメント
IV-1-(3) 保育環境			
IV-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	a	清掃は毎日行い、保育室内外ともに清潔に保っています。毎週土曜日は「環境整備の日」とし、日常できないところをていねいに清掃しています。砂場は定期的に砂おこしをしています。施設整備、遊具の点検は定期的に行っています。
IV-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	a	低年齢のクラスは、食事と午睡の空間を分ける工夫をしており、3歳児以上のクラスはおやつは別室で食べるなどの工夫をしています。広いホールは吹き抜けになっており、開放的な雰囲気となっています。ホールの隅にはカーペットやいすを置き、くつろげる工夫もしています。
IV-1-(4) 保育内容			
IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	a	一人ひとりの気持ちを受け止めながら、心身ともに安定した生活ができるようにすることを共通認識とし、子ども一人ひとりの成長発達に合わせて保育を進めています。調査時も、子ども一人ひとりに向き合い、じっくりと子どもの話を聞いたり、子どもにわかりやすいことばで語りかける姿が見られました。現在、環境係を中心に「一人ひとりを大切にする保育」をテーマに、人的環境について園全体で討議・検討をしています。
IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	a	基本的な生活習慣は、強制したり、急かしたりせず、自分でやろうとする気持ちを大切にしています。調査時も、子どもが自分のペースで食事をしたり、ようすを見ながらトイレに誘ったり、着替えも励ましたり、ほめたりしている姿が見られました。
IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	a	環境づくりは園全体で計画的に進めています。18年度は保育室を中心に、19年度は多目的室やホール、園庭整備に取り組んでいます。保育室は遊びのコーナーを分ける工夫がされており、年齢にふさわしい遊具を自分で取り出しやすいように配置しています。今後も環境づくりに向けた取組を続けて行くことを期待します。
IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがなされている。	15	a	周辺には公園が多く、できる限り散歩を取り入れ、自然に触れて遊ぶ機会をもっています。また、野菜を栽培して給食の食材に使用したり、金魚・カエル・カタツムリなどの小動物の世話をしています。散歩時に地域の人に声をかけてもらったり、運動会などの行事に近隣の高齢者施設の方を招待しています。
IV-1-(4)-⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	a	小学生と遊んだり、隣接の幼稚園との交流を継続するなど、いろいろなところで経験を積み重ねることを大切にしています。3・4・5歳児は毎月異年齢交流の日を設けて、グループごとに散歩に行ったり、ゲームをしています。また、年長児が年少児の午睡のときに手伝いをしたり、動植物の世話当番を行っています。
IV-1-(4)-⑥ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	a	園では、子ども一人ひとりを大切にするとともに、いろいろな経験や遊びを通して、友だちとお互いに影響を与え合い、「ともに育ちあうこと」も目標にしています。友だち同士思いやりの気持ちを持ち、お互いを認め合うことを大切にしています。国籍や文化については、生活習慣、考え方の違いを理解したうえで、子どもや保護者に接しています。
IV-1-(4)-⑦ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	a	園では、特に遊びや子どもに対する声かけで男女を区別するようなことはしていません。5歳児の男の子もおまごとしており、行事での役割も男女で区別はしていません。
IV-1-(4)-⑧ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	a	0歳児保育室は、低月齢と高月齢で保育室を分け、ゆったりと保育を行っています。それぞれ食事・遊び・午睡の空間分けをし、遊具は0歳児にふさわしいものを用意しています。離乳食のサンプルを保育室前の受託室に置き、保護者にとってはわかりやすいものとなっています。乳幼児突然死症候群(SIDS)の対策については、看護師より時間外サポーターに対しても伝えていきます。

評価基準		評点	コメント
IV-1-(4)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	a	園では、朝、日中、夕方と統一性をもった保育にするために、時間外保育係が中心となり長時間保育の充実に向けて取組を進めています。時間外サポーターに対して、ロールプレイによる研修や子どものようすの引き継ぎをきちんと行うよう努めています。今後も時間外保育のよりよい質の向上に向けた取組を期待します。
IV-1-(4)-⑩ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	a	障害児保育は必要に応じて、こども発達センターやまなびサポートなどに相談したり、助言を求めたりしながら、保護者と密に連携を取ってきめ細かく行っています。職員会議で子どもの状況について共有するよう努めています。
IV-2 子育て支援			
IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援			
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	a	日常の情報交換は連絡ノートと送迎時の会話により行っています。個人面談は年2回行っています。 また、各クラスには掲示板があり、クラスごとに工夫が見えます。クラス内の保護者同士での子育て情報交換、レシピの情報交換、人気給食メニューの紹介、行事の報告などを伝えています。園内には各種の掲示板があり、行事、防犯、感染症などの情報を伝えています。
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	a	家庭の状況や個人面談、怪我、アレルギーなどについては発達記録に記録されています。
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	a	3歳未満児は年2回保育参観・保育参加を行い、3・4・5歳児は年間を通じて行っています。保育参加の内容は職員の意見で見直しを図り、より保護者が子どもの成長を知ることができるよう工夫をしています。懇談会は年2回行っています。
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	a	職員には虐待防止に関するリーフレットを配布し、日常の場で子どものようすに十分注意を払うよう努めています。気になるようすに気づいた場合は速やかに園長まで情報が届く体制があります。
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	a	虐待が疑われる場合の対応について体制が整っており、こども発達センター、児童相談所などと速やかに相談・連携できる体制があります。毎年、職員間で意識統一を図っています。
IV-2-(2) 一時保育			
IV-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	—	非該当